

 株式会社 三幸金属工業所
SANKO KINZOKU KOGYOSHO.Corp.



<https://www.sankokinzoku.co.jp>

本社・
大浜鐵鋼センター

〒590-0977
大阪府堺市堺区大浜西町6-2
TEL : 072-222-5744
FAX : 072-222-5988

大浜第二
鐵鋼センター

〒590-0977
大阪府堺市堺区大浜西町1-1
TEL : 072-238-7007
FAX : 072-238-7008

堺浜工場

〒590-0908
大阪府堺市堺区匠町17-10
TEL : 072-233-3538
FAX : 072-232-3555

堺工場

〒592-8331
大阪府堺市西区築港新町3-28
TEL : 072-244-1531
FAX : 072-247-1692

STAND BY YOU

私たちは鉄を通じてあなたを支え、歩み続けます。



代表取締役 楠本 雄宏

三幸グループは、鉄にまつわる匠の技が息づく堺を拠点に、日本製鉄株式会社の指定コイルセンターとして生産活動を行っております。

日本一の設備能力・新技術・豊富な在庫を生かし、日本全国へ高品質な素材を迅速かつ安全に供給する事、また様々な顧客層に合わせたきめ細やかな製品作りが私どもに課せられた使命と考えて日々活動しております。

これからも素材メーカー、取引先商社、顧客の皆様のご期待に添えるよう、粉骨砕身努力を続け、社員全員が仕事を通じて幸せを感じられる会社を目指す、それが三幸グループです。

三幸グループが目指す
三つの幸せ

SOCIETY
社会



社会発展に欠かすことのできない鉄の供給

CUSTOMER
お客様



お客様の満足するサービスの提供

EMPLOYEE
社員



人間尊重と人材育成による健全な職場

堺工場

堺浜工場

大浜第二鉄鋼センター

本社・大浜鉄鋼センター

堺浜工場

堺浜工場が保有するレベラーは、板厚 25mm×板幅 2,170mm、月産 10,000 トンの生産加工能力をもつ国内最大級のレベラーです。併設のコイルヤードは最大 40,000 トンの保管能力を有しています。



堺浜レベラー

■ 高い生産性

板厚 25mm でも、ラインを止めずに連続切断可能なフライングシャーを導入しています。払い出し作業中でも、連続して流れてくる製品をパイラー内で仮受けすることで、生産性の向上を図っています。



パイラー（製品集積部）



板厚 25 mm のコイル

■ ガス溶断

主に敷板用途で、板厚 16mm ~ 22mm、サイズ 914mm×1,829mm ~ 1,524mm×6,096mm を加工しています。ガス切りに加え、穴あけ加工も可能です。



■ 平坦度向上

強圧下を掛ける事により、内部応力を最大限除去 (90%以上) できる構造となっています。そのため、平坦で高精度なレベラー加工製品に仕上がります。溶断加工をしても、ひずみ事なく平坦を保ちます。



厚板

■ 印字装置

各メーカーが製造している厚板材と同様に、レベラーカットした鋼板への印字が可能です。鋼板への印字により、在庫管理の簡易化やトレーサビリティの向上を図ります。印字項目は、規格・サイズ・製造 No.・メーカー名となります。

■ スケール対策

押しこみ傷や二次加工時のトラブル対策として、スケール除去処理を行っています。エアブロー、スケールブレイカー、集塵装置により板表面にスケールが少ないので、レーザーやプラズマ切断にも最適です。

堺浜レベラー スペック一覧

板厚	12.0 ~ 25.0 mm
板幅 (実幅)	914 ~ 2,170 mm
切断長	1,800 ~ 12,200 mm
コイル重量	MAX 37t
コイル内径	762 mm
コイル外径	1,200 ~ 2,500 mm
ライン速度	MAX 20 m/min



大浜 鐵鋼センター

大浜鐵鋼センターは、主力2機の大型レベラーラインを備えた工場となっています。約800トン積の運搬船が着岸可能な棧橋を併設しており、海上輸送で入荷することも可能です。

1号機レベラー

3号機レベラー

■ 薄板対応レベラー

板厚 1.6mm ~ 12.7mm × 板幅 2,170mm、月産 10,000トンの加工能力があります。四つのレベラー部を備えており、その内、板厚 6.0mm 以下を目安とする薄物対応のライトレベラーと 6.0mm 以上の厚物対応のヘビーレベラーにより、幅広い厚みの加工を可能にしています。



薄板（自動梱包作業）

■ 自動化処理による高い生産性

レベラー入側の母材コイルを四つ同時に準備できるコイルストレージ、出側の結束・段積みまでオンラインの自動化装置、当社最速のラインスピードにより、高い生産性も併せ持っています。



コイルストレージ



レベラーオペレート作業

1号機レベラー スペック一覧

板厚	1.6 ~ 12.7mm
板幅(実幅)	600 ~ 2,170mm
切断長	600 ~ 8,000mm
トリミング	○
コイル重量	MAX27t
コイル内径	508/610/711/762mm <small>※508/711mmは要相談</small>
コイル外径	890 ~ 2,500mm

■ 大型レベラー

板厚 2.8mm ~ 22.0mm × 板幅 650mm ~ 2,170mm × 長さ 1,200mm ~ 12,700mm までの広範囲な加工ができる国内でも屈指のレベラーラインです。普通鋼はもちろんのこと、ハイテン鋼の対応も可能です。



鋼板製品

■ 品質について

日本製鉄株式会社からの委託加工を行うために特別な研修を行った検査員が、通常の加工でも鋼板表面の品質チェックを行っております。



表面目視検査

■ 印字装置

堺浜工場と同様に、レベラーカットした鋼板への印字が可能です。印字項目は、規格・サイズ・製造 No.・メーカー名となります。



3号機レベラー スペック一覧

板厚	2.8 ~ 22.0 mm <small>※12.8~22.0mmは要相談</small>
板幅(実幅)	650 ~ 2,170mm
切断長	1,200 ~ 12,700mm
トリミング	○ (~ 12.7mm)
コイル重量	MAX30t
コイル内径	610/762mm
コイル外径	950 ~ 2,300mm

加工 堺工場

堺工場はシャーリング機11台、プレス機7台を保有する、鋼板の加工に特化した工場です。



■ シャーリング機

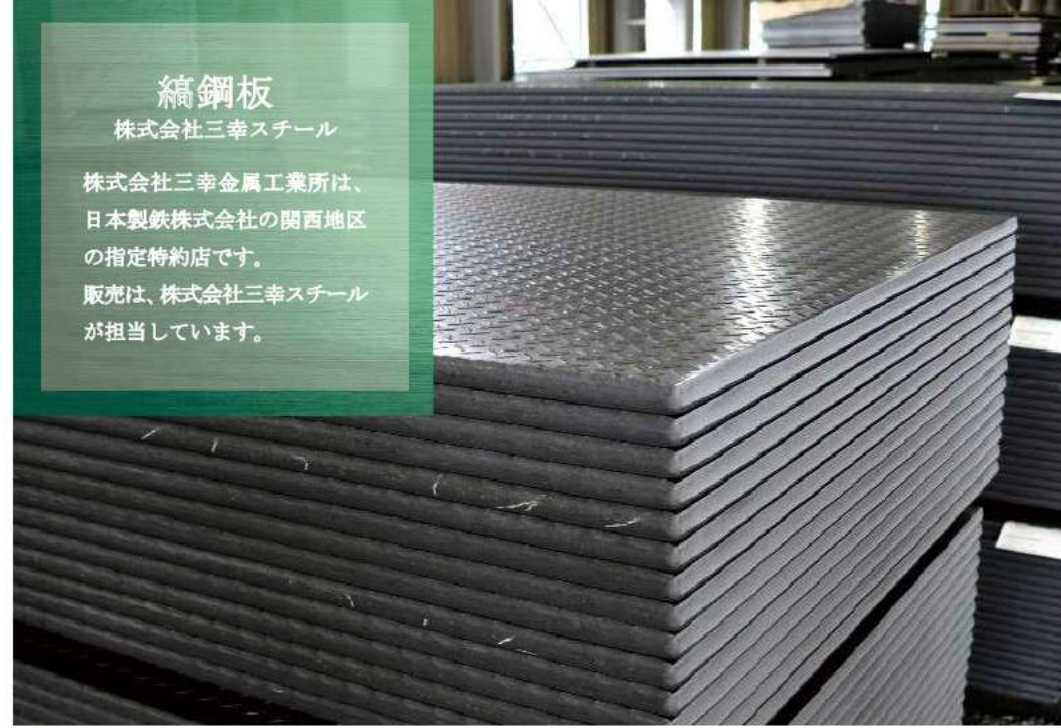
20尺シャー 1.6mm～6mm
10尺シャー 1.6mm～16mm
8尺シャー 1.6mm～9mm

部門全体での剪断能力は
板厚 1.6mm～16mm
月産1,200トンの加工能力があります。

縞鋼板

株式会社三幸スチール

株式会社三幸金属工業所は、日本製鉄株式会社の関西地区の指定特約店です。販売は、株式会社三幸スチールが担当しています。



■ 厚縞鋼板

縞板の中でも厚みが16mm以上のものを厚縞鋼板とよびます。厚物なので耐久性があり、工場現場等で敷板として使われます。

16mm/19mm/22mmの製品提供と、各種加工対応が可能です。



■ プレス機

圧力能力は60トン～300トン。月産300トンの加工能力があります。



■ ミニレベラー

鋼板を細く裁断した際にできる捻りを矯正し、平坦な鋼板にすることができます。

シャーリング機 スペック一覧

スケヤシャーリング	6.0mm×6,100mm	1台
シャーリング	16.0mm×3,050mm	1台
	16.0mm×1,000mm	1台
	13.0mm×2,000mm	1台
	13.0mm×1,250mm	1台
	10.0mm×2,500mm	1台
	6.5mm×2,500mm	2台
	6.5mm×1,250mm	2台
プレーキプレス	6.0mm×1,200mm	1台
	6.0mm×3,000mm	1台
6tコーナーシャーリング		1台

プレス機 スペック一覧

クランクプレス	300t	2台	150t	1台	60t	2台
	250t	1台	80t	1台		
油圧プレス	150t	1台				

素材製品

■ 日本製鉄の縞目

日本製鉄の縞鋼板は厳密な品質管理のもとに製造されているため、縞目はきわめて正確で、表面肌は大変美しくご好評いただいております。



縞鋼板

表面に付いている格子状の小さな突起（縞目）により、すぐれた滑り止め効果が期待できます。

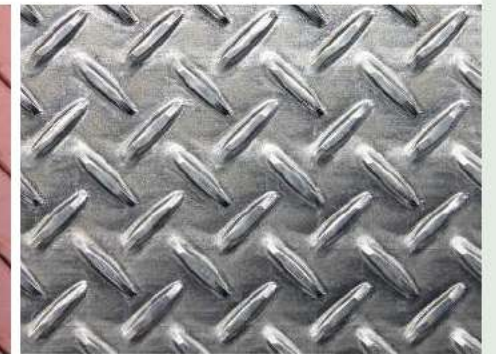
- 滑り止め
- 切板加工
- 曲げ加工



カラー縞鋼板

縞鋼板に JIS5621 赤錆塗料を施しており、錆に強いのが特徴です。

- 滑り止め
- 切板加工
- 曲げ加工
- 錆防止



メッキ縞鋼板

溶融亜鉛メッキによる、光沢のある外観が特徴です。カラー縞鋼板よりもさらに錆に強く、沿岸地域でも活用されています。

- 滑り止め
- 切板加工
- 曲げ加工
- 錆防止
- 光沢

物流・倉庫

大浜第二鉄鋼センター

大浜第二鉄鋼センターは、入荷したコイルを各工場へ配送するための中継拠点です。敷地内専用埠頭と、大型コイルヤードを保有しています。



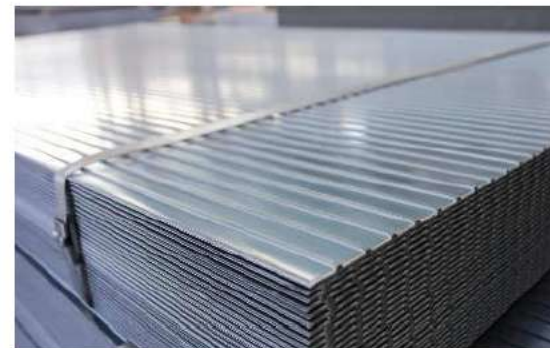
■ 敷地内専用埠頭

約2,500トン積の運搬船が着岸可能な栈橋を併設しており、日本製鉄株式会社の各製鉄所から海上輸送での母材コイルの入荷を可能にしています。



■ 大型コイルヤード

22,149㎡の敷地面積があり、約50,000トンの保有能力をもつコイルヤードを保持している為、様々な要望への対応、鋼板の安定した供給が可能です。



■ たてじま鋼板

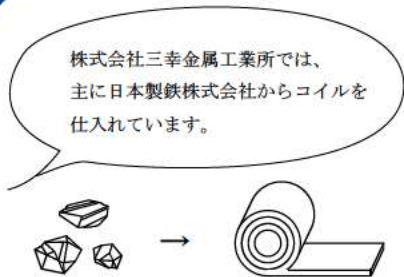
たてじま鋼板は数多くの鉄鋼メーカーの中で唯一、日本製鉄株式会社が製造しております。船舶のステップや、床板、側板などに利用されていますが、その他にも幅広い用途に活用することができます。

取扱サイズ一覧

厚さ mm	単位 質量 kg/m ²	幅 × 長さ mm			
		914×1829 (3×6)	1219×2438 (4×8)	1524×3048 (5×10)	1524×6096 (5×20)
2.3	19.73	33	58.6	91.6	-
3.2	26.79	44.8	79.6	124	249
4.5	36.99	61.8	110	172	344
6.0	48.77	81.5	145	227	453
9.0	72.32	121	215	336	672
12.0	95.87	160	285	445	891
16.0	127.27	213	378	591	1183
19.0	150.82	252	448	701	1402
22.0	174.4	292	518	810	1620

1 鉄鋼メーカー

製鉄所にて、鉄鉱石などの原材料から作られた鋼板は、ロール状にまかれた鋼帯(コイル)というものになり、出荷されます。



概要

社名	株式会社 三幸金属工業所	主要作業	レベラーカット加工 鋼板シャーリング 鋼板販売 [縞鋼板・縦縞鋼板] [厚板・中板・薄板] 各種プレス加工	取引銀行	三菱UFJ銀行堺支店 商工組合中央金庫堺支店 みずほ銀行九条支店
代表者名	代表取締役 楠本 雄宏			関連会社	■ 株式会社 三幸スチール 本社 株式会社三幸金属工業所内
本社	大阪府堺市堺区大浜西町6-2 TEL 072-222-5744(代) FAX 072-222-5988	主要生産品目	切板 [縞鋼板・縦縞鋼板] [厚板・中板・薄板] 各種スプロケット [自動車・単車・建設機械]		
創業	昭和32年3月				
設立	昭和39年8月				
資本金	4,000万円				
従業員数	80名				

2 コイルセンター 株式会社 三幸金属工業所

コイルセンターとは、コイルの加工と、在庫・流通管理を主に担う流通加工業者です。

鋼板を加工する様々な設備があり、株式会社三幸金属工業所にはコイルを平坦な鋼板にする「レベラー機」、鋼板を切断する「シャーリング機」「プレス機」があります。

また、コイルや加工製品の在庫と流通管理により、鉄鋼の需要と供給のバランス調整をしており、鉄鋼流通の要となる重要な役割を担っています。



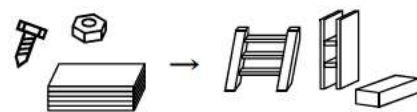
■ コイルセンターとして

株式会社三幸金属工業所は、国内でも有数の加工設備・技術を持っており、高品質な鋼板製品を、全国の需要家に供給しています。

また、国内最大手メーカーとの太いパイプと、豊富な在庫保有能力による鉄の安定供給が強みとなっています。

3 加工会社・製造メーカー

鋼板は製造メーカーや商社に納品され、様々な業種のもとで加工・組立されて製品となり、一般消費者に販売されます。



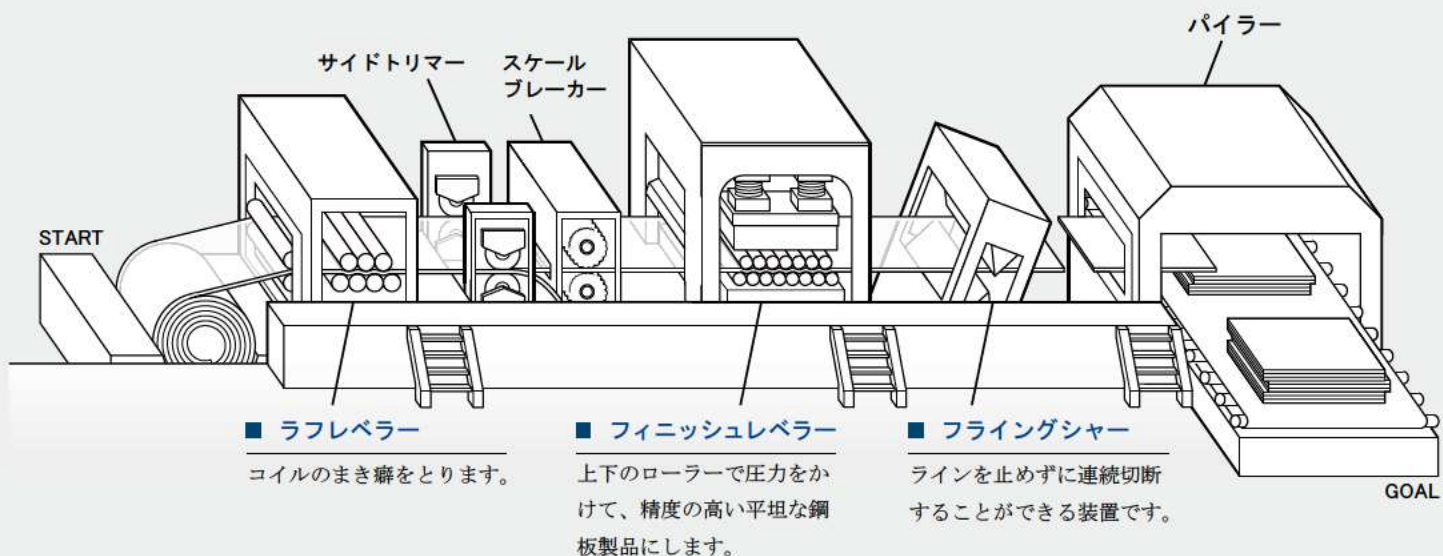
4 社会へ

高速道路、ガードレール、船、立体駐車場など、株式会社三幸金属工業所の鋼板は様々な製品に生まれ変わり、社会や生活を支えています。



レベラーの仕組み

レベラーとは、上下に配置されたロールで圧力をかけることで、コイルのまき癖をとり、平坦な鋼板にする大型装置です。鋼板は切断機(シャー)により、指定サイズの鋼板になり、パイラーに集積されます。



沿革

- 昭和32年 3月
堺市長曾根町に楠本工業所を設立、プレス加工を開始する。
- 昭和39年 8月
株式会社三幸金属工業所を設立する。
- 昭和43年 3月
鋼板販売とシャーリング加工を兼業開始する。
- 昭和45年12月
堺市築港新町、堺鉄工団地協同組合内に本社及び工場完成、厚板部設備、プレス機器を増設する。
- 昭和54年 1月
小コイルのレベラー加工設備を新設する。
- 昭和56年10月
日本製鉄株式会社の発生品加工工場としての認定を受け、発生品コイル及びシートの加工販売を開始する。
- 昭和60年11月
レベラーラインを増設し、プレス機器及びシャーリングを新鋭機と入れ替え、加工部門の躍進を図る。
- 昭和63年 4月
日本製鉄株式会社の一級加工工場としての認定を受け、コイル及びシートの加工販売を開始する。
- 平成 元年 4月
日本製鉄株式会社の関西地区に於ける縞鋼板の販売拠点としての認定を受け、縞鋼板の加工、販売を開始する。
- 平成 4年 4月
和歌山県広川町に工場を建設。ジャンボレベラーラインを新設する。
- 平成 5年 7月
レベラーラインを和歌山工場に移設改造し、主力工場としての体制確立を図る。
- 平成 8年 6月
和歌山コイルヤードを増設する。
- 平成13年 7月
和歌山工場にレベラーラインを新設し、老朽化レベラーと入れ替え同時にコイルヤードを増設する。
- 平成15年 9月
堺市大浜西町に倉庫兼工場用地を購入し、大浜鐵鋼センターを開業する。
- 平成17年 2月
ジャンボレベラーラインを大浜鐵鋼センターに移設し、加工販売を開始する。
- 平成18年 1月
ロータリーシャーライン(1号機)を移設、大浜鐵鋼センターを主力工場とし、同時に本社事務所を大浜鐵鋼センターに移転する。
- 平成23年 5月
堺市堺区匠町にジャンボレベラーラインを新設し、堺浜工場として竣工する。
- 平成27年 9月
堺市堺区大浜西町に倉庫兼工場用地を取得し、大浜第二鐵鋼センターを開業する。
- 平成30年 9月
大浜鐵鋼センターにレベラーラインを新設し、老朽化レベラーと入れ替える。